

非熱血教師の三年間

3年間仮説漬けの高校生のみなさんと元熱血教師の「我が闘争」

付録「みなさんとたのしんだ授業 68」

北海道平取高校（当時）

丸山秀一

1992.4 札幌たの教サークル

1992.7 仮説実験授業長野大会

前書き 熱血しないとどうなる?!

僕は、教師になってからの4年間は、「熱血教師」として張り切りました。テレビの青春ドラマの影響もあったのでしょうか、特に僕が最初の担任をした3年間の熱血ぶりは、自分でも驚くほどでした。「おまえら、これでいいのか。それでも青春しているのか」と毎日のアジ演説。行事のときなんか、率先してほとんど気違い沙汰でやっていました。そして3年間で過ぎ、生徒達は卒業して行きました。3年間熱血して残ったもの、つまり実験結果は、辛い思い出と深い心の傷と無力感だけでした。生徒達はどう思っていたのでしょうか。

もちろん、僕は授業では、ずっと仮説実験授業をやりつづけていました。ですから、授業に関しては、いつも生徒さんから、すてきな評価をもらっています。だから、担任としての評価です。熱血教師としての僕の評価はどうだったかという、これがたいしたことないのです。「ひとりでがんばっていたみたいだった」「努力は認める」といったものでした。そして僕は転勤しました。

転勤して僕は、すぐにまた担任を持ちました。そしてなぜか、今度は全く熱血しないで3年間で過ごしました。図らずも「全く熱血しないとどうなるか」という実験をやってみたのです。そして、その結果が出ました。

非熱血教師の僕への評価

「今までの感謝の気持ちを込めて、担任の先生に三年間の思いを語ってください」

そんな作文を国語の先生が卒業試験に出したようで、僕の机の上には僕の担任としての生徒の皆さんの評価が積み上げられています。前任校で「熱血教師」として活躍(?)したものの、ここ平取高校では、うってかわってまったく熱血しなかった3年間でした。

思えば、やること全て「イイカゲン」。グタグタいわない代わりに、面倒もみない。口癖は「オレタチは他人です」「僕の人生ではない」。行事の時は年休を取る。学級通信も出さない、学級日誌もいつからかなくなったし、。クラスはまるで団結力がなく、バラバラ。（注意「仮説をやる教師はこうあるべきだ」などと考えないように）

(質問)

そんな担任の僕を生徒さん達はどう思っていたのでしょうか。

予想

- ア 頼りない担任だと思っていた
- イ フツーの担任だと思っていた
- リ すばらしい担任だと思っていた
- エ そのほか

・僕の予想

「担任がいても生徒は育つ」だから、あんまり関係ないんじゃないかなあ。ま、「フツーの担任」ぐらいには思ってくれるさ。教師の熱血なんて、結局は、自分のためにやっているんだら、生徒には特に関係がないと思う。

さて僕の予想、あなたの予想は当たるでしょうか。

実験

次からの話を読みましょう。

僕は教科担任...「授業する人」

作文を読んで驚いたのは、書いてあることはみんな授業の事ばかり。つまり、「教科担任」としての僕の事ばかりでした。やっぱり「HR 担任」としては、印象が薄かったのか、いやいや授業の方が印象が強かったのでしょうか。そして、それは僕が一番嬉しいことです。HR 担任としては、落第点でもあんまり気にならないなあ。やっぱり、「頑張っていることを評価して欲しい。頑張っていないことを誉められても嬉しくない」もんね。フツーの先生は、「担任も、授業も部活も」とやるからノイローゼになるんだろうなあ。できないおかげでできもする（板倉聖宣先生の『発想法カルタ』だよん）、「できない能力」の大切さをわかる先生が増えたら、職員会議も早く終わるのに。「うちの生徒は、服装はヒドイです。だから（「でも」じゃないよ）授業はたのしくやっています」なんてね。

HR 担任としての評価

少ないながらも、僕の担任としての評価を読んでみることにしましょう。お付き合いください。

・真面目そうでいやだった

先生が担任だと知らされたとき、「真面目そうでいやだなあ」と良い印象を持たなかったのに、いまではどの学年の生徒からも慕われていますね。（ゆり）

真面目そうな先生は、生徒から嫌われるらしいなあ。アクリマエなのか、不思議なのか。

・名前を覚えてもらえなくて悲しかった

私は良く先生に名前を忘れられました。どうしてかと思うと、私は目立たなかったからだと思います。今じゃあちゃんとわかっているみたいだけど、最初はショックでした。私は、なんとか「めだたなきや」と思い、ステージ発表に毎回出るようにしたのです。

先生は、ちょっとインチキっぽいところもあったけど、でもすごくみんなの事を考え、やさしくいつも私たちを見守っていたのではないかと思います。ご苦労さま、ありがとうございました。(ともみ)

ともさんは、いつもステージ発表に立候補して出ていました。こんな理由があったなんて、僕は、全く気がつきませんでした、こうして私は生徒の人生を変えてしまった、。う-ん、胸に突き刺さるなあ。名前は、ちゃんと覚えよう。ちょっと反省。でも結果がいいからいいなあ、うん。(無責任)

・個性豊かなクラスに

先生は、良くこの一人一人個性の違い過ぎる学級をまとめてきましたよね。私は先生に勧められて、生徒会の仕事も経験することができました。

どうして先生が良くもてるのか。それは先生がいつまでも「青年の心」を持っているからだだと思います。そのおかげで私の看護婦への夢に一步近づくことができました。毎年ひとりづつ退学してしまったけど、残り38人の夢を叶えてくれましたよね。先生、ありがとう。(ともえ)

結局、担任が「なにもやらないと」(しつこいけど、ホントに何もやらなかったわけではないよ)クラスはまとまるんだよな。ただし、国家主義的(クラス主義的?)な団結はまったくないけど。「まとまる」というのも、「いろんな奴がいて仲良し、平和にやってる」って事だよ。ともえさんを生徒会役員にしたのも、うちのクラスから一人ださなきやならない割り当てで、ともえさんをお願いしただけ。だましてやってもらっただけなのに、感謝されちゃった。

うちの生徒さんは、本当、みんな夢を叶えることができました。理由は、やっぱり、僕がなにもしなかった(しつこいけど額面通りに受け取らないように)からだろうなあ。そういえば、面接の練習をしたときに、

僕 「尊敬する人は誰ですか」

みほ「担任の丸山先生です」

僕「どうしてですか」

みほ「はい、私のクラスは大変個性的な人が集まっています。でも、うまくまとまっていますし、クラスみんなが個性的になるのも、担任の先生の指導が良いからだと思うからです」

ということがあって、僕はひとりで「なるほど」と感心していました。

・この大変クラスをよく

先生は、大変なクラスをよく3年間担任としてやってこられたと思います。はっきりいって、このクラスにはろくな人はいません（一部除外）。小学校のころから、何かと問題をおこしてきた人たちばかりです。中学校の担任は、生徒の顔を見るのがつらくてしやうがなかったといっていました。おそらく先生にも、そういうことがあったのではないかと思います。私たちのいなくなったあと、良い生徒に巡り合えるよう、お祈りします。（E）

そのとおりです。彼らの中学時代の悪逆非道振りといったら、あとで知ったのですが、たまげることばかりでした。教師二人を病院送り、暴走族と喧嘩して学校に押し寄せてくる、ススキノでヤクザとケンカ……。そんな事が、高校へきてからなくなるはずがありません、生徒の皆さんは、影ではずいぶんと警察のご厄介になっていたようです。でも学校では、みなさんととても平和でした。この3年間、暴力事件など（少なくとも発覚したもの）は一件もなかったのですから。

ちなみに、熱血時代のクラスは、問題噴出つねに停学者がいて、喧嘩も絶えず、わやだった。熱血って攻撃的なんだよな。

・クラスをまとめたのは

3年間、クラスをまとめてやる気にさせていたのは、いつも丸山先生でした。私たちのクラスで退学する生徒が少なかったのも、やはり担任が丸山先生だったからだと思います。

（ひでのり）

生徒さんにそう書かれると、「そうかなあ……。いやそうに違いない、その通り」と思えてくる僕でした。

・頭の低い先生

先生は変な先生だと思いました。生徒に対しても頭が低い先生で、いつも「お願いだからしないでね」ってしていました。普通の先生なら、「やめろ」とか怒るのですが、丸山先生は違いました。丸山先生は、ふだんからあまり怒はせん。やつあたりもしません。

自分の中でどう処理しているのか、いつも不思議です。

先生を怒らせたらとても怖いです。まず目がつり上がり、顔全体が引きつり赤くなります。この3年間で丸山先生の怒った顔を見たのは、指の数ほどもないと思います。学校での先生と、プライベートでの丸山氏とでは180度違うようですね。

ストレス解消はどうしているのでしょうか。酒も煙草もしないから、女ですか。先生、早く結婚してください。(ふみ)

「明日は服装検査です。お願いだから、明日だけはきちんとした制服できてね。」いつもそんな感じだったもんな。だって「どうでもいいことは、どうでもいい」じゃない。僕は、入学式にこういうのです。「命に関わることをやったら、許しません。それ以外は、それなりにしてください。」

いやいや制服は「どうでもいいこと」ではありませんでした。生徒さんが制服であげられると、僕が他の先生に怒られたりするから、「大切なこと」です。だから僕は、少し必死で半分あきらめをお願いするのです。「まあ、ツッパリたいひとがいたら、少し付き合っただけでいいよ」と。

あと僕は、ストレスがたまりません。まあ、生徒の皆さんを受け持ちまして、かなり胃が痛いこともたくさんありましたけど、でも、「あいつら、ヒドイからなあ、これじゃあ胃も痛くなるはずだ」と納得してしまっておしまいなのです。他の教師に怒られたときも「いや本当にあいつらどうにもなりませんわ」といってればよいのです。まず正義感をもち過ぎないこと、そして「自分のせいだ」と思わないのが秘訣のようです。ですから、授業の時の僕も、プライベートなときの僕も、まったく同じです。ストレス解消法は、たまに「怒鳴る」ことかなあ。いや、たのしい授業をすることで。次のなおみさんの文章ものせておきます。

・切り替えが素晴らしい

先生はめったに怒らないけど、怒ると怖い。パッと怒って、パッともとに戻る。あの切り替えはすばらしい。タラタラウジウジ怒って、あとを引く先生がよくいますが、あれは本当にいやです。先生は偉そうなところがなくて、親しみやすい先生でした。これからも変わらずにいて下さい。(なおこ)

僕が怒鳴るときは、「ムカツ」ときたときです。けっして「教育的配慮」なんかでは怒りません。だから、怒鳴ったら「スツキリ」です。でも、ほんとは、怒鳴ると「生徒さんに悪かったな」と少し自己嫌悪。でも、「うるさいのは、あいつらだ」とすぐ「お互い様」と納得。それで済みです。本当にスパッと切り替えることができます。だって大切なのは、怒鳴ることじゃなく、たのしい授業をすることだもの。だから、たのしく授業をしたい、の。

あと仮説は、生徒さんの嫌がる「押しつけ」をしないからね。だいたい昔から僕は、権力というものが大嫌いで、反骨精神豊富。押しつけられるのが嫌だから、押しつけもしない。「生徒を脅すのが教育」と思っているのか、よく脅す先生がいるけど、僕は「今回もだめだったら、落第だね - 。なに、人生は長い。来年、もう一度がんばろうね - 」というだけです。(十分脅している?)

・2 重人格

授業の時の先生は、明るくて元気いっぱい馬鹿みたいで、親近感がわく。でも、授業が終わって、職員室にいる先生は怖い感じがして別人のようだ。本当の姿はどちらなんだろう。丸山先生の一番好きなところは、こどもっぽいところだ。このこどもっぽさをいつまでも忘れないでください。(けんじ)

どちらの僕も僕ですよ。授業が商売なんで、授業の時は、どんなことがあっても明るく振る舞います。恋人から別れの手紙がきたときだって、元気いっぱいに授業をしていました。でも、職員室での僕はもう「芸人」じゃない。そこは舞台裏。たいていは疲れていてへとへと。職員室では、まったくサービスをせず、偉そうな僕です。

教室にて 「はい、プリントありますか。ないひとには、お配りしますよ」

職員室にて「プリント?しらん。あとで」

もしかして、だから僕は、職員室では、周りの先生とうまくやっていけるのかも。これは発見だ - 。しかも「丸山先生は、冷たい」ということで人気がでないので、非常に助かります。(人気が出ると、生徒さんと の付き合いが大変。)

「こどもっぽい」のは、きっと「好きなことしかやらない」からだろうなあ。僕は、なんだか、本当の子どもの頃より、今の方が「こどもっぽい」気がします。Forever young!

・面倒をみること、みないこと

高校へ入学して、まず気になったのは、「担任はどんな人か」という事でした。先生が教室に入ってきて、「おはようございます」とあいさつをしたとき、「この先生は楽しい人だ」と思いました。

私が最初のテストで赤点を取ってしまったとき、先生が「次のテストで頑張りなさい」と静かにいってくれたことが一番嬉しかったことでした。2年生の時は、進級が危なくなつたときがあった。先生は、私をほめながら注意をして「次のテストは頑張りなさい」と励ましてくれたこと、どんなときでも笑顔で私たちの面倒をみてくれてありがとうございました。(けんた)

僕は、権力が嫌いだから、役人も嫌いです。行政職の地方公務員として働いた経

験からも、役人の皆様には「税金どろぼ - 」といたい。僕が「おはようございます」とあいさつするのは、実は理由があります。僕が大学の入試を受けにいった時のことでした。ある一期校（そういう入試制度だった）はさすがに偉そうだった。北海道は、まだ冬で寒いのに、時間通りにしか建物に入れてくれない。もちろん、挨拶も愛想もない。ところがある二期校を受験にいったら、全然態度が違う。あまりにも早く会場に着き過ぎたのに、「入っていいよ、どうぞどうぞ」と入れてくれたし、ちゃんと挨拶に返事をくれた。そして何よりもうれしかったのが、受験室に入ってきた監督が、最初に明るい声で「おはようございます」といつてくれたこと。それが、どんなに緊張しているぼくたちをほっとさせてくれたことか。結局試験は、両方とも落ちたけど、そのとき僕の進む大学が決まったのでした。もちろん、二期校の方です。

そんなわけで、僕はあいさつをします。昔の僕と同じことをケンスケ君は、感じ取ってくれたんだな。そして3年間覚えていてくれた。なんかうれしい。

また僕は、正義感や良心や使命感があんまりないから、生徒さんたちの面倒をあまりみないのです。それに、どうせ他人だしね。ですから、あまりカッカくることもありません。熱血教師ほど、カッカくるからね。だから進級できそうにない生徒さんがいても、「おいおい、今度は頑張れよ」でおしまい。僕としては、手抜きばかりで、「生徒さんたちに申し訳ない」と思っているのですが、それをケンスケ君にほめられました。だから今は、「これでもいいかな」とちょっと思っています。

僕は教師ですから、人間のよいところを見つけます。というより、数学ができなくて、服装がおかしくたっていいじゃありませんか。そんなの人間性とは何の関係もないことです。そしてもっと、僕とはなんの関係もないです。だから、それなりにやってくれればいい。「僕に、あんまり迷惑かけないでね」とはいうけどさ。自分の価値は、自分で認めるものだと思うから。

ということで非熱血教師（というより手抜き教師）でも、なかなかの評価をいただくことができました。でも僕が一番気にしているのは、授業の評価です。3年間仮説ばかりをしてきました。その授業について生徒の皆さんはどう書いてくれたでしょうか。

・たのしくないはずの授業が

普通は楽しくない授業が、とても楽しかったです。はじめてやった仮説実験授業、一生忘れないと思います。授業をしているときの丸山先生はとってもステキでした。（まさみ）

ねっ、仮説ってステキでしょ。

・先生の魔法に魅せられて

丸山先生、いつもニコニコしている、誰にでもやさしい先生。丸山先生って授業でたくさんお金つかって、私たちにいったいいくらかったのかな、でも損しているようでとっ

でも得しているような気がします。みんな知らず知らずのうちに丸山先生の魔法にかけられているのかも（私だけ？）。なんとも言えない人を引き寄せる力がありますよね、先生って!?

丸山先生のプリント授業は本当に楽しかったです。私が保母になったら、子ども達に教えてあげるんだ。先生大好きです。いつまでもやさしい丸ちゃんいてください。（やえ）

「仮説」をやれば誰でも超能力者。「たのしさ」の超魔術です。「たのしさ」を体験した人たちが、こうやってほかの人に伝えていってくれるのが、僕は一番嬉しいです。だってそれは、確実に未来が明るくなることです。でも生徒の皆さんは最初からこの授業を受け入れてくれたわけではありませんでした。

・ほかの高校生に笑われる

何かとっても変で、不思議で、初めの頃は、「ほかの学校の人に笑われるんじゃないか」と不安だった。だけど今は違う。反対にほかの学校の人に自慢できる。少しずつだけ物知りになれたから。だからこのプリント授業で知ったことを、もっとほかの人に知らせようと思う。三年間、本当に素晴らしい授業で良かった。（まさたか）

・プリントなんてやめて

先生の授業を初めて受けたとき、授業の進め方が気に入らなくて、皆で「プリントなんてやめて」「仮説実験なんて何の役に立つの」と批判して、いつも困らせていました。それなのに今は「プリント作って」「実験しようよ」と皆が言うようになったのは、丸山先生がとてもステキな授業をしてくれたからです。池田先生も、丸山先生のプリント授業を活用して、いつのまにかプリント授業が毎日されていました。先生のおかげで、自分自身とても賢い人間になれたと思います。ありがとうございました。先生の遊び感覚的な実験は何年たっても生徒から愛されるでしょう。（ゆり）

思えば、最初の頃は生徒の皆さんからの抵抗が結構ありました。「黒板に書いて、ノート取るのが授業」という思いが生徒の皆さんにかなり強くあったようです。そして、「感化されたくないんです」と言っていた当時新採の池田先生も、今では「中堅（池田先生の弁）」で、仮説実験授業ばかり。でも、池田先生が仮説を始めたころは、「丸山先生のマネは良くない」という生徒の批判がかなりあったようです。生徒って正義感が強いですから。そして生徒さん達が卒業するころには、なんの事はなし、僕の授業よりも、池田先生の仮説で皆さん盛り上がっていました。でも僕の授業でも池田先生の授業でも、生徒さん達の態度にはつらいものがありました。ねえ、池田先生。（拙著「やる気がないってホント？」『たのしい授業』No, 117をご覧ください。）

・どんな先生も嫌い

私は、学校の先生は、どんな先生でも嫌いです。今でも変わらません。だけど丸山先生の授業は楽しかったです。今までのどんな授業より楽しかったです。どこか他の学校でもプリント授業をやっているのかもしれないけど、先生のやる授業ほど楽しくも笑いもないでしょう。どんなに生徒がうるさくても、参加していなくても、授業をやり続けた先生をすごい人だと思います。先生は、きっと強いんですね。私たちのいなくなったあと、よい生徒に巡り合えるようにお祈りしています。(E)

彼女はなぜかクラスの中で一部の生徒に、のけもの扱いされていました。ナチス時代のユダヤ人の様に。つまり僕には、彼女には何の問題もないように思えて仕方なかったのです。つまりは偏見です。教師達は、それをどうすることもできませんでした。中学校や小学校でもそうだったのでしょ。それともどこかで教師が彼女を傷つけたのかも知れません。教師は、よく生徒さん達を駄目にします。

僕は、やはり E さんのためには何もしてあげられませんでした。「あなたが、ステキになって、そんな嫌な人間にならなければ、あなたの勝ちじゃない」と無責任に話すくらいでした。それでも E さんは独力で進路を切り開いて卒業して行きました。何とか僕は、最低限、彼女を傷つけることはしないですんだようです。

それにしても、彼女が言うように、生徒さん達の授業の態度にはつらいものもあったなあ。でも僕が授業をやり続けたのは、「偉かったから」ではありません。僕は正義感や使命感では授業をやっていないから。僕がやり続けた理由はひとつだけ、「たのしかったから」。生徒さんがぜんぜん「参加」してくれなかったときでも、それでも僕はたのしかったんだ(無理やまけおしみじやなくてホントに)。

それでは、授業をたのしんでくれた皆さんのご意見をどうぞ。

・この学校でよかった

高校入って、理科の授業をやって、本当にたのしいと思いました。理科の授業が待ち遠しかったことを覚えています。高校へ入ったころは、「他の学校へ行けばよかったかな」と思っていました。でもこの学校へ入ってよかった。こんなすばらしい授業をうけて本当によかった。この授業のおかげで、他のどの高校生よりも、ものすごく賢くなったような気がします。(よしのり)

・これからの人生ハッピー

原子とか、洗剤の事とかいろいろ知ろうとしなければ、本当に一生わからないでいってしまうことだろう。別に知らなくても生きていけるだろうけど。でもそういうことを知っていったら、どんどん賢くなれる。プリント授業をやってきて、本当にいろんな事を知っ

た。少しだけ知識がついて、これからの人生がたのしめそうです。(けん)

次に「だんだんと楽しみがうすらいってしまった」という意見です。たしかに3年生のときの授業にはつらいものがあった(こればかりだなあ)から。どうしてなのでしょう。

・平取高校の自慢です

プリント授業はたしかに教科書をやるより興味がわくと思う。初めころは、プリント授業が毎日楽しみでした。スリルがあって、手を上げる楽しみがあって、とてもたのしい授業でした。でも後半、みんなも同じだと思いますが、そのたのしみがしだいに薄らいできてしまって、でも楽しかった。

ものづくりをしているとき、時々、「こんなことしていいのかな」という気持ちになってしまいますが、ものを作るという事は夢があっていいことだと思うので、これからも続けていって欲しいと思う。

プリント授業も「もの作り」も、平取高校の自慢です。(ちえみ)

1年生の頃は、意見を言う人が結構いて、たまに討論になつていたりしていました。でもそういう人たちは、「いいかっこするな」とほかの人たちからヤキをいれられたりして教室という社会から抹殺されて(?)しまったのです。これは「社会的現象」なので、僕には簡単には変えられませんでした。でも参加してくれる人(予想に手を上げてくれる人の事)は、3年生になってとくに減ってはいませんし、変わっていないのです。授業の評価だって、よいものばかり。つまり「社会から抹殺された人たち」は「隠れ仮説(?)」となってたのしんでいたというわけです。「だんだんたのしみがうすらいできた」というちはるさんだって、「でもたのしかかった」と書いてくれています。思想の統制下(?)にあっても、仮説はちっとも衰退することなく、確実に根を下ろしたのです。これも社会の法則なんたって仮説は「証明された事実」なのですから。

授業中参加してくれていないように見えた人たち

次に僕から見ると授業中は、トランプしてたり、おしゃべりしてたりで、「参加してもらえなかったなあ」と思えた生徒さん達の意見を見てください。

・ほかの授業は眠くなる

プリント授業はすごくらだった。他の授業は、決まって教科書を見て、眠くなるような授業だけど、プリントは知らないうちに覚えたことがたくさんあった。(としお)

・なんにも考えずに授業に夢中になれる

理科の授業って、どこか「憎めない」授業なんだよね。だって他の授業だったら、せつせとノート取らなくちゃならないけど、理科はプリントがほとんどだから、答えをちょっと書き込むだけでいいんだもん。

それに先生は自分のお金でおやつとか食べさせてくれるから、理科の授業って気楽っていったら悪いけど、なにも考えずに夢中になれる。教科書授業でおかたい授業するより、プリントでリラックスして授業受けているほうがずっと楽しかった。(かよ)

・手を上げたら、賢くなった

とってもおもしろかったです。仮説実験授業は、初めは自信がなかったので手を上げなかったけど、そのうちに何度もあげるようになりまして。そしたら、賢くなってきました。(じょうじ)

これは僕にとっては驚きでした。授業中は、全然やる気がないように見えたひとたちも、やっぱりたのしんでくれているのです。なかなか外見からだけではわかりません。「開いてみなければ分からない」です。そして、最後にT君のを紹介します。

・仮説を社会に響き渡るように

僕は山猫学会に入会して、この仮説実験授業をもっともっと社会に響き渡るようにNHKなどに持ちかけて行き、北海道から沖縄まで全国ネットで仮説実験授業の素晴らしさを日本中どこでも通用するような山猫学会を作るために努力して行く素晴らしい科学者になろうと思います。どうか先生、応援してくださいね。(T)

T君は、ひとり隣の町から通っていました。最初は友達もいなくて、よく学校もさぼっていました。ちょっぴり反抗的で、僕は「続くかな？」とちょっと心配したものです。授業中も、ぜんぜん「参加している」という感じはないように見えたのですが。

そんな彼が、仮説実験授業が大好きだとは僕は思いもしなかったのです。いやあ、ホントに生徒さんはわかりません。でも、彼もとってもステキです。

開いてみなきゃわからない

多くの教師は、管理されて行儀良く教室に座っている子供達と、リラックスして手遊びなどしながら授業を受けている子ども達を見ても、どちらが授業に乗っているか区別がつかない有り様です。だから、せっかく仮説実験授業をやっても、子どもたちに感想文を書いてもらわないと、子どもたちがどんなにその授業をたのしんでいたか分からない

板倉聖宣「子どもたちの気持ちが分かる教師への道」『たのしい授業』1991。5月号

う - ん、いつもながら、今更乍、板倉聖宣さんの言葉がこたえます。「子どもたちの気持ちには分かっている」と思い込むのが一番危険なんだよな。

そして卒業式

平取高校の生徒さん達と 3 年間ずっと仮説実験授業をやってきて、僕の思っていたより以上に皆さんは仮説の事を好きになってくれたみたいで僕は嬉しいです。まあ、仮説をやっているんだから、ハッピーエンドに決まっているんだけど。

また僕は学年主任として 3 年間生徒のみなさんとやってきました。強制的威圧的指導をしなかったためか、生徒の皆さんは大変のびのびしていました。ちょっとだらしなくて、ほかの先生達にはずいぶんとひどいことも言われたけど、結局たいした「問題」は何も起こさずに、抜群の進路実績だけを残して彼らは去って行きました。

前任校で熱血したときの僕は、卒業式には平服で参加して（「まだ終わっちゃいない」ということなんだな）、くやしさを噛みしめていました。「おまえら、ほんとにこれでいいのか。俺のあの努力はなんだったのか」と。でも、今年の非熱血教師の僕は、正式な礼装で参加し（「これでおしまい」という連想断ち切りの論理です。終わりがあるから素晴らしいのです）、静かに生徒さん達を見ていました。心に去来するものはなにもありませんでした。そして、涙も感動もない卒業式が終わり、最後の HR に入りました。

「それではみなさん、本当にさようならです。さようなら！」別れの涙は見られませんでした。ほんの二三人が、涙ながらに僕のそばに来たほかは。殆どの皆さんは、元気に、幸せそうに、はばたきながら窮屈だった「ニワトリ小屋」をあとにしました。僕は、それをやっぱりニコニコしながら見ていました。

3 年間の非熱血の実験結果は、こんなものです。授業をつぶして行事をやっていた熱血時代がうそのように、今は、行事より、何よりも授業です。さて、そろそろ僕の答えを出すことにしましょう。答えは、

「熱血かどうかに関わりなく、大切なのは、仮説実験授業をやること。熱血は、お互い傷つくことがあるので要注意」

たいしたことのない答えだなあ。でも、熱血しないでも、とっても素敵な評価をいただきました。だいたい「生徒のため」と頑張った前任校では、人気第 3 位（クラスの卒業文集より）。「生徒は他人。俺はシラン」のここでは、なんと人気投票第 1 位（学校祭「教師生き残り人気投票」）。不思議だ。だから、無理に熱血することはない。いやいや、ハッキリ言わせていただければ、熱血は「生徒の迷惑」でしょう。

熱血か熱血でないかで大きく変わったと思うのが、行事への態度でした。よく行事には、人格を無視したようなゲームが登場します。それに対して熱血時代は、「下品な種目だからこそ、頑張れば優勝できるぞ」で優勝。とにかくクラスの団結のために「勝利」が必要だったのです。それが今は、「そんなくだらないことやってられるか。やめてもいいよ。名誉あるグレッパだ」とたいへん論理的、民主的にやっています。「嫌なことは、せずせず」。

賞状という他人から与えられるだけの価値ではなく、自らの価値観で行動する、そんなことができたような気がします。考えてみたら、こっちの方が熱血かな。熱血教師でない多くの先生方、ご安心を。熱血しないほうが、評価がいいよ。らくだし、その分授業をできるしね。多くの熱血教師の皆様、教師が好きで熱血していることをお忘れなく。しかし、熱血のあの自己満足感も捨て難い。生徒を己の正義を貫くために使うのじゃ。わがクラスはNo.1である。わが民族が世界を支配するのだ。ハイル、ヒットラー！

あとがき

卒業も近いある日の授業中。

ふみ 「先生、私たちがいなくなったら寂しいでしょ?！」

わたし「そうだなあ（それは寂しいと思うけど）、寂しいというより、やっぱり嬉しいよ」

みんな「なんだって!」（生徒の皆さん突然反応）

みこ 「うれしい?！」（みこさんはコワイ女の子）

わたし「（ひえー、こわいよー）だ、だ、だって、みんなが卒業すると言うことは、みんなが賢くてステキになったと言うことでしょ。僕は、みんなに賢くステキになって欲しいから、やっぱり僕は嬉しいよ」

仮説実験授業では、実験結果が出たあとで、それを解説したりはしません。僕も、すてきな実験結果が出たから、これでいいな。現在の高等学校は、「ニワトリ小屋」でしかありません。そんなところを「昔は良かった」なんて思って欲しくないし。（どうやら、この反骨ぶりは、まだまだ熱血の血が騒いでいるようで ）

「でも、仮説は良かったよ」

そうでしょうとも。でも、仮説は、高校とか学校とかの枠に縛られるようなものじゃないんだ。だから、学校なんかやめちゃっても、仮説はずっと一生たのしむことができるんだ。どう、人生未来が明るいでしょ。確実に未来が明るくなる仮説実験授業を、みなさんは三年間受けました。

そうそう、ホントの実験結果は、生徒の皆さんが、どれだけステキになるかだな。クラス会がたのしみ。少し、ピクピクだけど 。

おしまい

隠れ熱血丸山秀一記す

ひとりごと

誰かひとりの人を愛したら、ほんの少しでも他の人を愛するのが嫌になるときがある。「愛」というものに限りがあって、他の人にそれを少しでも向けることが、もったいなくもあり、不誠実なものに思えて仕方がないのだ。

僕は、今「仮説」に対してそんな時期にあるような気がする。教師として授業以外の他の仕事が好きになれない。そんな事にエネルギーを使いたくない。いったい僕は何を恐れているのだろうか。それはきっと、大切なもの、たのしい授業を失いたくないのだ。でも「失うまい」と頑張ることが、逆に大切なものを駄目にしてしまう場合が多いのだ。

実は「愛」のエネルギーには限りがないのだ。人を愛すれば愛するほど、もっとさらに愛せるようになるのだ。愛の能力を自ら限定する必要はない。

少し、熱血の血を騒がせてみるか……。そういえば、最近の職員会議では、ずいぶんと張り切っているな、俺は……。(たんにストレスを発散させているだけかも)

「ちょっと開くけど、仮説の人たちは、熱血教師を馬鹿にしているのかい」

同僚の熱血教師の倉茂さんに聞かれた。最近「僕は仮説ですから、他のことは、ばからしくてやってられませんよ」と公言するひとがいるからだ。僕はすぐに自信を持って答えた。

「そんなことあるもんか！（俺が熱血教師だ！）」

でも、熱血教師の彼のクラスは、かつての熱血時代の僕のクラスと同じく問題噴出、新学期早々大量の服装違反者を出していた。

皆様、熱血にご用心。

I FEEL YOUNG！

おまけ

平取高校での仮説実験授業の3年間

たのしかった授業68

は、授業書、授業書案

は実施学年

第1位 ぼくらはニワトリ 33票

前任校でもダントツの一位だったこの授業書。のんびりしているうちの生徒さんには感激が薄いようだなと思っていたら、やはりそうでもなかったみたい。

第2位 ベっこうあめ 32票

なんてつたってたべものは大人気。

第3位 洗剤を洗う 30票

この授業は、なんてつたって賢くなるのが実感できるからいい。実は、この授業書だけは、僕なりにかってに变更后使っています。

第4位 心理学入門 27票

これも賢くなるもんなあ。自分の心について気になるころだしね。

第5位 30倍の世界 22票

授業中は、ぜんぜん「参加」している感じがなかったんだけど、生徒の皆さんには強烈な印象が残っていたようです。やはり「聞いてみなきや分からない」なあ。

第6位 たべもの飲みもの何の色 21票

生徒さんたちに毛糸を染める作業をやってもらいました。うちの生徒さんは、自分達でやってみるのが大好きです。そして、一番準備に金のかかった授業書でした。色のついたお票子代ウン万円なり。

第7位 プラバン 20票

これも大人気。イラストの本を買って来て、バラバラにして配りました。

第8位「クリスマス、リース」 19票

これもお金がかかるけど、とってもいいムードになります。

第9位 もしも原子が見えたなら 16票

この授業書って、高校生にも驚きがあるみたい。二年生のときの最初にやったのに、良く覚えていました。

第10位「コロンスの卵」 14票

卵立てです。これって性格と関係あるなあ。とうとう最後まで立てることができずに、大暴れしたのがミコちゃんでした。

「たなばたかざり」

やっぱりいいです。

第12位 「錯覚の世界」 10票

第13位 電子レンジと電磁波 9票
ものとその重さ

- 第 15 位 種の標本 7 票
「おふだ」
花と実
- 第 18 位 細胞 6 票
一年生の最初にやったのがコレ。
爆発
「ようこそ山猫学会へ」
「仮説実験授業の練習」と称して、僕が作ったプリント。
カップの話
生物とその社会
動物と種
岩波映画
- 第 25 位 「続ぼくらはニワトリ」 5 票
折り染め
原子の立体周期表
- 第 28 位 こっくりさん 4 票
細胞とその社会
ドライアイスで遊ぼう
背骨のある動物たち
さる・るるる
- 第 33 位 宇宙への道 3 票
たべものとうんこ
- 第 35 位 モンシロチョウの謎 2 票
燃烧
ゆうたくんちのいばりいぬ
ピンゴ
種と発芽
- 第 40 位 あいさつことば 1 票
錬金術入門
地球

たべものと酸，アルカリ
「カイロづくり」
親類

番外は，，

ばねと力 動くもの動かないもの 速さと時間と距離
三態変化 原子とその分類 コーヒーゼリー
など

選択「物理」でも仮説

3年生のときに「物理」を選択した生徒さん（15人）には，さらに多くの仮説実験授業を受けてもらえました。物理」の授業でのベスト3を選んでもらいました。

・物理の授業ベスト3

第1位<ものとその電気> 11票

特に「ライデン瓶」が好評でした。

第2位<光とむしめがね> 6票

手作りカメラ「シオノックス」(塩野広次さん作)好評0「万能眼鏡」のぞき部屋」(小笠原智さん作)も作りました0

第3位<磁気カードの秘密> 3票

2進法には皆さんげろげろしていましたが・・・。

<振り子と振動>

「皿回し」(小笠原智さん作)大好評。学校祭では，中国雑技団でみんな皿回し。なかには，フィルムキャップなしでも，何でも回すことができるプロも。

第5位<熱気球> 2実

体育館で火傷に注意しながら。

<滑車と仕事量>

高校には滑車がないので実験には苦労しました0

<光の波と儒光板>

分解した電卓は，もとは戻らなかった・・・0

<ゼネコンで遊ぼう>

ゼネコンが多数破損。高校生のパワーはすごい。(涙)

<まさつ力と仕事量>

自動車の問題が楽しかったみたい。

第10位「ジュースの缶つぶし」

大気圧の実験ね。

<みつばちぶんぶん>

<空気と水> 第2部

ランク外(1票も入らなかったもの)

<吹き矢> <程度の問題> <水の表面> <二つの回路の結合>

<77円電池>

ずいぶんたくさんやったなあ。

たのしかった・・・。

元熱血教師の『我が闘争』おしまい

文中生徒さんたちの名前は仮名です

丸山 秀一

kasetu.maruyama@nifty.com